

構想から約**40**年、できそうもない鉄道高架？ 市民合意で対案をつくろう！**9・21**集会

日時 9月21日(土) 1:15 開場、1:30 開始

場所 沼津市立図書館 4F視聴覚ホール 資料代：200円

主なプログラム

- ・主催者あいさつ
- ・講演：静岡大学教授 川瀬憲子
「鉄道高架の問題点は何か」
- ・さまざまな市民の意見と要望



駅・道路の利用者、区画整理対象の富士見町自治会、
商店街、沼津の活性化を願う市民など

鉄道高架は大幅延期、19年後？

沼津駅鉄道高架事業は、構想から約40年、関連する用地は買収されましたが、計画は変更つづきで、完成は19年後の2041年以降という不透明なものです。

なぜでしょう？沼津市、静岡県、JR(鉄道事業者)の計画があいまいで、無理を重ねているからです。沼津市は、これから2年かけて新駅舎のデザインを考えるという悠長なもの。駅高架後の沿線周辺の再開発のプランも未だにできていません。今まで何をしていたのでしょうか？

ウラへ

【主催・連絡先：地方自治に民主主義を求める会、富士見町自治会対策委員会、
鉄道高架を見直し沼津を元気にする会 (連絡先) 沓澤大三 090-2720-2284】

あと19年以上もがまん？ どれだけ税金を使うの？

延期するたびに費用はどんどん膨れ上がり、全体の事業費は2272億円、そのうち沼津市は約800億円を負担します（残りは国・県など）。計画がさらに伸びれば、費用の増加は避けられず、費用に見合う事業効果は全く得られません。

鉄道高架のために多くの予算を使うからと、市民サービスは抑えられ、沼津市民はずっと我慢を強いられ続けています。



2 鉄道高架の構想（静岡県ホームページより）

橋上駅と道路の立体化で良いのでは？

新貨物ターミナル建設は着手されましたが、鉄道高架の本体は進む気配は見えません。沼津駅の南北の交通改善をはかるなら、人が自由に往来できる橋上駅とデッキや、道路の整備など代替案を検討すべきです。その方が費用は抑えられ、駅周辺の再開発も早く進みます。今まで検討された橋上駅案などの周辺開発のプランを、時代の変化をとらえ、市民合意で対案をつくるべきです。安くて、良いものを、早く！

沼津の全体のことを考えてほしい！

市民の税金は、駅周辺だけでなく沼津全体を見渡して、市民のくらしのために有効に使ってほしい！海と川、山と緑、歴史遺産に恵まれた沼津のポテンシャルを活かして、沼津全体が生き生きと活性化するよう方策を実現して欲しい！40年も前の構想時より経済的・社会的背景は大きく変わっています。市民が新しい沼津の状況に合わせた対案をつくるべきです。

暮らしやすい、魅力的なまちづくりは市民参加で！

まちづくり、駅周辺再開発は、市民の声を聴き市民参加で進めるべきです。

富士見町では住居移転・用地買収に協力していますが、換地先は当初の約束と違ってきて、住民間には不安感が漂っています。仮に開発が進んだとしても、かげで泣いている人が出てはいけません。みんなが幸せになるまちづくりを進めましょう。

東京・世田谷区の下北沢駅周辺再開発では、市民との話し合いを何百回と重ね、市民合意の上ですばらしい駅周辺の再開発を実現しました。沼津でもできるのです！